



情報活用能力としてのねらい	活用できる教科や学習活動
D1:コミュニケーション D4:ルール・マナー	LHR、情報

### 道徳または総合的な探究の時間

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く

時間	学習活動	準備物・留意点等
10分	<p><b>1. やってみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あなたが、クラスの友達から言われて「いやだな」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードの中から1枚を選ばせ、グループの全員が見えるように提示させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3~5名のグループとなり、カード教材を準備する。</li> <li>・カード教材</li> </ul>
10分	<p><b>2. 考えてみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どのようなことに気が付きましたか。</p> </div>	
10分	<p><b>3. 考えてみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「人によって感じ方が違う言葉」には、どのような言葉がありますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで共有させ、気が付いたことを発表させる。</li> <li>・ネットの特性を読み上げ、「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて書いた考えを説明させる。</li> </ul>	
10分	<p><b>4. やってみよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを裏返すように指示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あなたが、クラスの友達からされて「いやだな」と感じることを選び、上から順に並べてみましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5枚のカードを、「いやだな」と感じる順に並べさせ、グループの全員が見えるように提示させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カード教材</li> </ul>
10分	<p><b>5. 考えてみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ、その順番に並べたのか説明しましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで理由を説明し合わせる。</li> <li>・クラスで共有させ、理由を発表させる。</li> </ul>	

・自分の「いやな言葉」や「いやなこと」が相手の「いやな言葉」や「いやなこと」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで「いやな言葉」や「いやなこと」を共有させる。

・「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の印象の違いについて、実演するとよい。

・「いやなことをしないようにしよう」という指導では、「自分のいやなことを相手にしなければ大丈夫」（自分の「いやではないこと」ならしてもOK）となってしまう、コミュニケーショントラブルの要因になってしまうことに気付くようにする。

情報モラル

スマホと上手につきあおう

1. やってみよう あなたが、クラスの友達から言われて「いやだね」と感じる言葉一つを選んでみましょう。

1 まじめだね 2 おとなしいね 3 一生懸命だね 4 個性的だね 5 マイペースだね

2. 考えてみよう どのようなことに気が付きましたか。

自分と友達で順番が違うことがわかった。

3. 考えてみよう 「人によって感じ方が違う言葉」には、どのような言葉がありますか。

自分は④が一番嫌だが、人は状況によっては他のカードのほうが嫌だということがわかった。

4. やってみよう あなたが、クラスの友達からされて「いやだね」と感じることを、上から順に並べてみましょう。

1 すぐに返信が来ない 2 なかなか会話が終わらない 3 知らないところで自分の話題が出ている 4 話をしているときにケータイスマホをさわっている 5 自分が一緒に写っている写真が公開される

5. 考えてみよう なぜ、その順番に並べたのか説明しましょう。

自分の話をちゃんと聞いていないように感じてしまうから。

26

！ こんなどきどうする

たかさんと花子さんに、どのようなトラブル起きる可能性があるか、考えてみましょう。

1 スキルのポイント  
ネットの特性

文字だけで伝えると、そのときの感情が伝わらないので、相手に誤解されることがあります。例えば、画像、相手に「まじめだね」と言う場合には、そのときの自分の表情や口調から、相手は「まじめだね」の意図を理解します。しかし、文字だけで「まじめだね」と伝えると、自分の表情や口調が相手には伝わらないので、相手をいやな気持ちにさせてしまうなど、自分が伝えなかった「まじめだね」の意図が誤解されてしまう場合があります。



53

### アドバイザーのコメント

高校生になれば、「ネット上で人の嫌なことをしない」ことが重要であることは十分に理解しています。しかし、多くの生徒は「自分はネット上で人の嫌なことをしていないだろう」と考え、「自分は大丈夫だろう」とトラブルを他人事として捉えてしまいます。情報モラル教育の第一歩として、カード分類比較法を用いて、「もしかしたら、自分も嫌なことをしてしまうかもしれない」というトラブルへの自覚を持たせることが重要なポイントになります。